

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学8							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	2期	山中 直樹		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として、各損傷を正しく評価するために、運動器疾患の特徴を理解し、損傷との鑑別をより正確に把握できるように学んでいきます。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		柔道整復師で取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられるようになるため、「損傷に係わる運動器の病理的变化について理解する。」					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ol style="list-style-type: none"> 1. 関連する解剖学的知識を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 2. 関連する運動器の機能を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 3. 運動器の病理的变化を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
すべての教科の基礎である解剖学、とくに運動系、脈管系および神経系の部分の予習復習を大事にしてください。							
教科書・参考書							
教科書:『柔道整復学・理論編』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂病理学概論改訂第3版)医歯薬出版株式会社							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業に必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	運動器の病理①			p.152-154	教科書・筆記用具		
第2回	運動器の病理②			p.154-156	教科書・筆記用具		
第3回	運動器の病理③			p.156-158	教科書・筆記用具		
第4回	運動器の病理④			p.158-160	教科書・筆記用具		
第5回	運動器の病理⑤			p.160-162	教科書・筆記用具		
第6回	運動器の病理⑥			p.162-164	教科書・筆記用具		
第7回	運動器の病理⑦			p.164-165	教科書・筆記用具		
第8回	運動器の病理⑧			p.165-166	教科書・筆記用具		
第9回	まとめ				教科書・筆記用具		
第10回	定期試験				教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院に8年間勤務。また、鍼灸院を開業して12年の訪問診療等における実務経験をもとに運動器の病理について話をします							
メールアドレス							
yamanaka@nihonisen.ac.jp							

65

63

令和4年度 授業計画書(シラバス)

シラバスの記入について
<p align="center">実務経験</p> <p>本科目に関連のある実務経験をお持ち場合は○を入力してください。 ○の場合は下部の「実務経験と本講義の関連について」欄に詳細を入力いただけます。</p>
<p align="center">科目概要</p> <p>柔整師、鍼灸師になるにあたり、この授業の必要性や、概要について簡潔にご記入ください。 左記は今年度、記載いただいた内容を掲載しております。</p>
<p align="center">目標</p> <p><一般目標> 本授業科目を履修することで期待される成果をご記入ください。 (例)～できるようになるために、～の能力を修得する。 ～できるようになるために、～の技術を身に付ける。 ※本校シラバス作成ガイドラインをご確認ください。</p> <p><到達目標> 一般目標を達成するために、知識・技能・態度面においてどのようなことができるようになることが望ましいかをご記入ください。 ・付番をして箇条書きでご記入ください。(1.、2.) ・具体的にご記入ください。(～ができる、～が言える) ・現実的な内容でご記入ください。→学生はSBOを読むことにより、その授業における学習のポイントをつかむことができます。 ※本校シラバス作成ガイドラインをご確認ください。</p>
<p align="center">履修に必要な予備知識や技能</p> <p>科目の修得にあたり、必要な予備知識・技能・心構えなどをご記入ください。</p>
<p align="center">教科書・参考書</p> <p>授業で使用する教科書をご記入ください。 また、参考書がありましたらご記入ください。</p>
<p align="center">受講上の注意</p> <p>受講にあたり、予習、持ち物、服装、態度等、学生に伝えることがありましたらご記入ください。</p>
<p align="center">成績評価方法</p> <p>本授業の評価割合を合計が100になるように設定してください。 評価方法について詳細・留意点がある場合は下段の空欄に記載してください。</p>
<p align="center">コマシラバス</p> <p><授業内容> 各回の授業スケジュールと内容の概要が分かるようにご記入ください。 小テストやチェックテストを行う場合も併せてご記入ください。</p> <p><教科書> 上段の「教科書・参考書」欄に記載した教材の該当ページを記入してください。</p> <p><教材・持ち物> 上記教材以外に用意するものがあれば記入してください。 白衣、患者着等もこちらに記入してください。</p>
<p align="center">実務経験と本講義との関連について</p> <p>※こちらは、上段の実務経験欄を○とした方のみご記入ください。 実務経験を活かして授業を行う際に、どのような実務経験を持つ教員が、どのような授業を行うかを記載します。 実務経験の長短は不問で、過去の経験でも構いません。 (例)△△は年間携わった実績を踏まえ、◆◆の実務者の観点から、○○について講義する。</p>
<p align="center">メールアドレス</p> <p>学生が授業で分からないとき等に質問できるyuihonisen.ac.jpのメールアドレスを記載します。</p>

回	日付A	日付B
第1回	2021-06-25	2021-06-25
第2回	2021-07-02	2021-07-02
第3回	2021-07-09	2021-07-09
第4回	2021-07-16	2021-07-16
第5回	2021-07-30	2021-07-30
第6回	2021-08-06	2021-08-06
第7回	2021-08-20	2021-08-20
第8回	2021-08-27	2021-08-27
第9回	2021-09-03	2021-09-03
第10回	2021-09-10	2021-09-10

令和4年度 授業計画書(シラバス)

学校日誌	
授業内容	変更点、変更理由
運動器の病理①	
運動器の病理②	
運動器の病理③	
運動器の病理④	
運動器の病理⑤	
運動器の病理⑥	
運動器の病理⑦	
運動器の病理⑧	
まとめ	
定期試験	